



子ども部屋で注意すること

まず、子どもに個室を与える時期は何歳頃がいいのでしょうか？一般的には「小学生になったら…」が目安のようですが、まだ低学年のうちは睡眠は自分の部屋で、学習や遊びは親の目が届く場所で、と使い分けるのも良いでしょう。

いよいよ小学校に入学すると、学校に関する持ち物を自分で管理するなど、子どもが自分で生活を組み立てるようになります。小学生から中学生へと進むにつれて趣味や持ち物も多くなるので、広い部屋が理想ですが、ベッド・机・本などの家具・日用品の置き場を考えると5畳は欲しいと思われます。

年齢が近い兄弟・姉妹がいるなら、小さいうちは広い部屋をふたりで共有して、いっしょに遊んだり学んだりすることもいいでしょう。成長し個室が必要な時期が来たら、壁を設けてそれぞれ独立した個室にすることも可能です。その時に備えて、クローゼットの大きさや位置は新築時に考えておきましょう。

まとめ

可愛い子どもの個室ですから、できるだけ広くゆったりとした部屋にしてあげたいのが親心ですが、予算や敷地の広さなど様々な理由で、あまり広く取れないのが現実です。

作り付けの収納では部屋の模様替えや配置換えができるということで、収納家具を購入して設置することも考えられますが、5畳程度の広さなら作り付けの収納の方が部

片付けやすく、散らかりにくい、
自分の部屋は自分で整理整頓！

“子ども部屋”の収納。

せっかく新築するのですから、子どもには自分の部屋を与えてやりたいと思うのは親心です。でもキッチンと片付けや整理整頓ができるか不安に思われる方もいらっしゃるのではないでしょうか。ゲームソフトやお気に入りのおもちゃ、マンガが出しっぱなしになって、毎日「片付けなさい！」と叱らなくてもすむように、子どもが片付けやすい収納の工夫を考えてみましょう。

情操教育
にもなる！

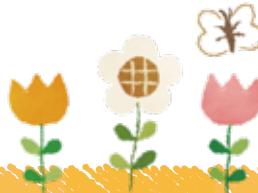


自分から片付けたくなる収納は…

子ども部屋を与えたからには、自分の部屋は自分で片付ける習慣を身につけてほしいものです。そのためには収納にも工夫するポイントがあります。

小学校入学前なら、収納は安全が第一です。扉などで指を挟まない造りになっているか、けがなどの心配はないかに配慮しましょう。子どもが成長して中学生以上になると、今度は学校で必要なモノや趣味のモノなど持ち物が飛躍的に増えます。そこで子どもたちが収納したいものをキッチンと自主的に収納できること、片付け嫌いにならないためのポイントになります。取り出しやすく、しまいやすい機能的な仕様にし、カバンや学用品だけでなく、洋服などもラクに出し入れできるように設計することが大切です。

例えば、男の子なら広くしまいやすい仕様に、女の子なら引き出しや細かい収納を数多く設ける事をおすすめします。



屋を広く使うことができます。収納の位置を変えることはできませんが、限られた空間を広く使えることが最大のメリットになります。また、地震で家具が倒れたりする心配もなく、隙間などを掃除する手間もありません。

最後に、片付けの習慣を身につけることは、部屋をきれいにするだけでなく子どもの情操教育にも繋がります。ぜひ、新築時には子ども部屋にも気を配ってあげてください。

迷ったら、経験豊富な
ハウスメーカーに聞いてみよう！



ママとパパとワタシにやさしい展示場。

山陽新聞岡山住宅展示場

